

陸前高田市について

～3・11から現在そして未来へ～



5年1組

菅野湧己

はじめに。

岩手県陸前高田市は2011年3月11日に発生した東日本大震災でじりんな津波の被害を受けた土地です。陸前高田市はぼくのおいちゃんおやぢの生まれ育った土地です。なので今も向こうこゝくこゝらこゝしている親せきが多数被災しました。亡くなった人、行方不明の人、奇世きせき的に助かった人、今も仮設住宅に住んでいる人など様々です。震災から2年5ヵ月経てようやくこの夏お墓参りに行けることになったので、ぼくは陸前高市について調べてみようと思いました。実際に被災地を歩き、親せきから色々な話を聞きまとめたいと思います。



陸前高田市について

〈地理〉

太平洋に面した三陸海岸の南寄りに位置する。三陸海岸南部は*リアス式海岸が続き、西の唐桑半島と東の広田半島に挟まれた広田湾の北奥に陸前田のおおきな平野が広がる。この平野は山が海に迫る地形が続き三陸海岸では最大級のものである。広田湾奥には気仙川が流れこんでおり、その運ぶ土砂で形成された砂州には高田松原と呼ばれる松原が東西に続く。高田松原の北に古川沼がありその先に山づくりに中心市街地がありその北には氷上山がそびえる。広田半島には木暮島などの景勝がある。

*リアス式海岸…みさきと入り江がのこまりの歯のように入り込んで続いている海岸。山と海が海のようにせまりがけになっている。日本では三陸海岸・しま半島などにある。



白砂青松の名勝高田松原

〈名所、祭事など〉

■ 高田松原

日本の渚百選に選定されていたが、7万本あった松林は津波で流され残ったのはたった一本である。松林の中には石川 たく木の歌やひや、高浜きよ子の句みがあった。夏の高田松原は、県内屈指の海水浴場であった。

■ 気仙町けんかセタ

毎年8月7日に行われるけんかセタ。じゅれい50年以上の木の丸太をくり付け山車と山車をぶつけ合う様子はまさに1人が見てないで参加するお祭り。毎年市内外より多くの人たちが参加して手にマメのお土産を作らして帰る。

■ 高田町・うごく七夕

毎年8月7日に行われる陸前高田を代表する七夕きらびやかにかかさられた巨大な山車12台が街下の中を練り歩くお祭りである。毎年多くの人たち参加し、市内から大勢の見物客が訪れている。

<交通>

東北新幹線系泉一、関馬尺から車で約2時間。かつて市川きにあたるJR東日本の5馬尺のうち4馬尺(大船渡系泉の虹馬匂馬尺・陸前高田駅・脇ノ沢駅・小友馬尺)は、馬尺舎などが流出し、系泉路も大きな被害を受けた。



陸前高田駅(鉄道駅時代の木造駅舎。2006年撮影。駅舎は東日本大震災の大津波で流失⁽¹³⁾)

<産業・特産物>

岩手県の魚かき量は2005年は、215,159t(全国8位)だった。

陸前高田はわかめ、こんぶ、かき、ほたてなどの養食かさかん。

<出身著名人>

■ 千葉周作 → 江戸時代の剣術家。当世を出身世とする説がある

■ 千昌夫 → 演歌歌手

■ 小松公正之 → 水産庁官僚

■ 鈴木弘規 → プロ野球選手

■ 村上弘明 → 俳優

■ 佐々木守 → アニメーター。参加作品に「NARUTO -ナルト」

※ 千昌夫や村上弘明は東北レエんの活重カで活やくしています

2011年3月11日の陸前高田市

地震の発生時間は14時46分、震源地は三陸沖、震源の深さ24km、土地震の規模「マグニチュード9.0」陸前高田市は震度6弱。地震発生後、人々は地震の片づけなどに追われていたが、津波についてはそれほど心配してはいなかった。気象庁が14時49分に発表した大津波けり報が「高さ3m」だったため、それを受けて陸前高田市の防災無線も、15時17分までは「3mをこえる大津波が予想されます。ただちにひなんして下さい」という放送だった。

気象庁の大津波けり報は15時14分には「6m」、15時31分には「10m」に変更されたが、停電で県はメールを受け取れなかった。陸前高田市の防災無線は15時26分で「津波が氷門をこえています。気仙川において津波がこえています。しん水地いきの人はただちにひなんして下さい」となった。

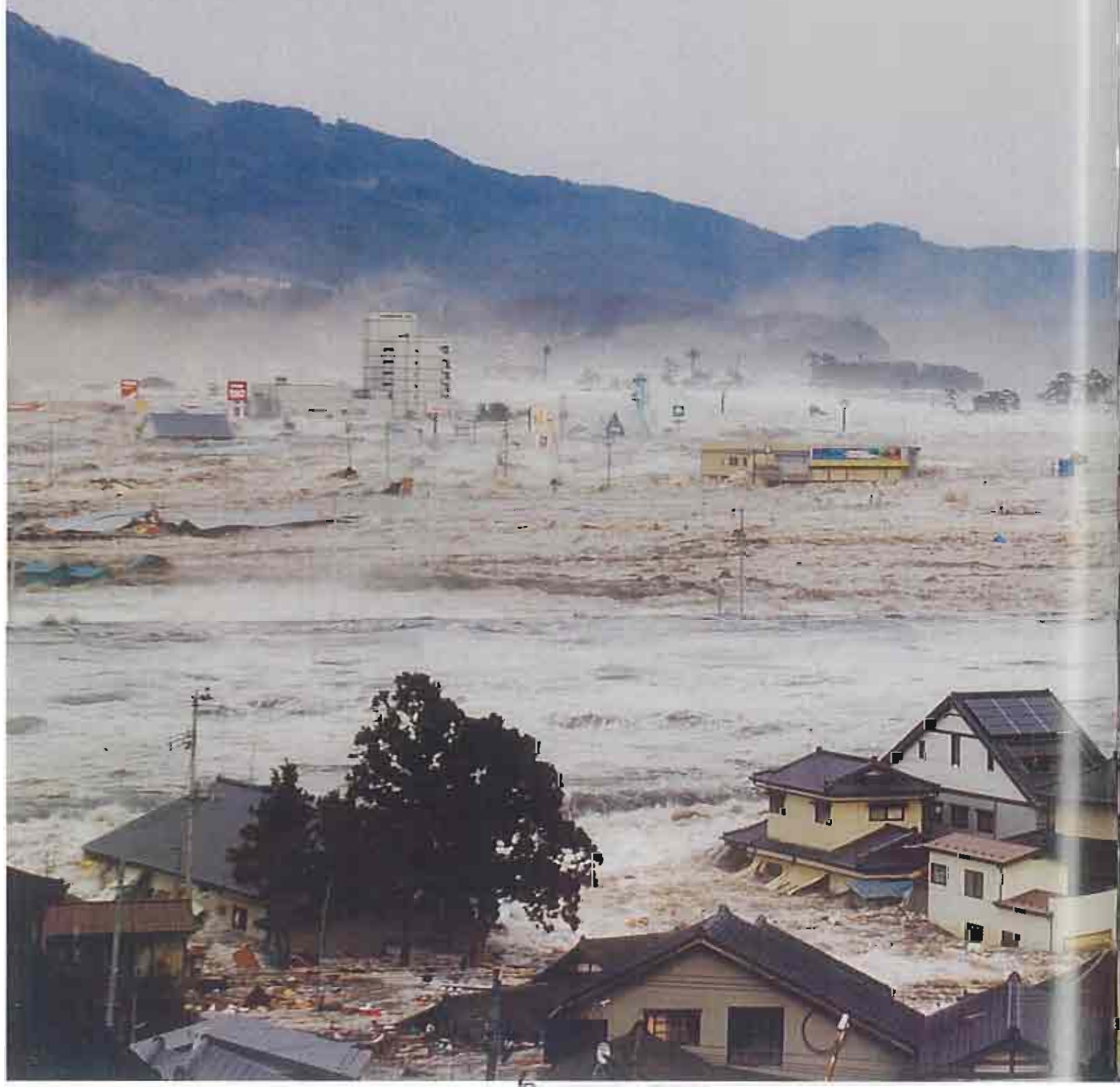
大津波けり報が3m以上だったから、堤防が5mの高さだったため、だいたい3mと安心して逃げおくれた人がたくさんいた。そのため、きせり者がたくさんできてしまった。津波をあまくみて海を見て逃げおくれた人もいた。

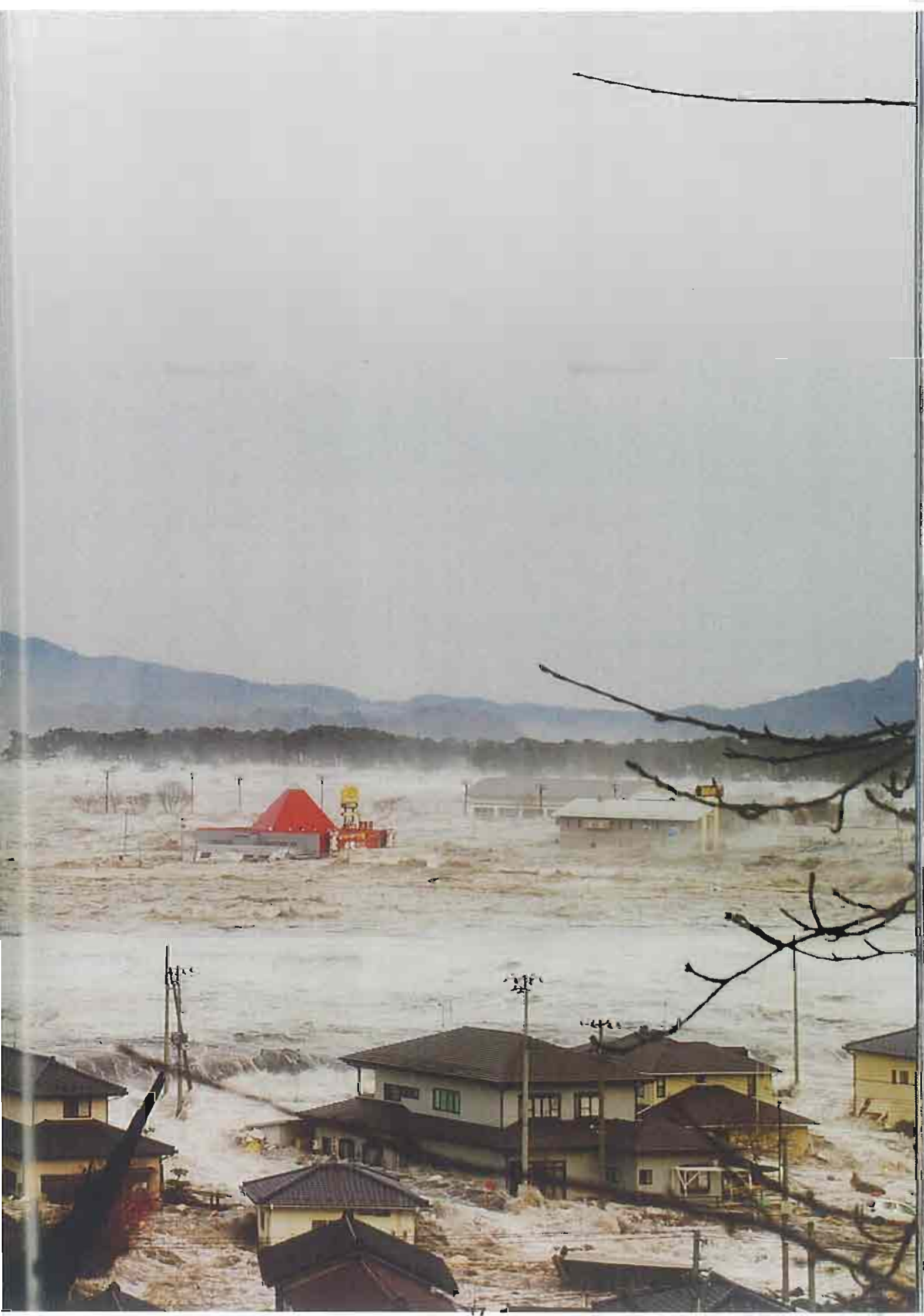
津波の時市内の保育園や小学校、中学校にいた子どもたちは先生たちの判断で、地震後はじめにひなんした場所から、すぐさまさらに高台へのひなんをしたため、全員無事だった。高田病院では4階の天井まで津波がきて入院していた人々もいた。地震後、たくさんの人々が市の指定ひなん所にひなんしていたが、68か所のうち35か所がしん水するなどして、ひなん所にひなんしていたのに津波で亡くなった人もたくさんいた。地震・津波のよく日から自えりたのヘリコプターなどにより津波の土に

残された人々の救助がはじまった。家がこわされたりなく
した人がひなんするひなん所は市内で118か所になった。
電気がス、水道すべてのライフラインが寸断されたなかで
生き残った人たちは皆で力を合せてがんばっていた。
仮設住宅が少しずつ完成し、ひなん所に行った人々はうつて
いったが震災から二年五ヵ月たつた今でも、たくさんの方が
自分で家をたてることは出来ず、そこでくらしている。

2011.3.11 15:28

気仙川があふれ、建物をなぎ倒す津波。高田松原の松が必死で耐えていた。この時までは・・・





津波

気仙川をさかのぼる津波・街をなぎ倒す津波。
堤防は決壊、役に立たず。高田松原の松が必死に耐えていたが……。
だれも、何も出来ない、止めることができない……………

1 15:23



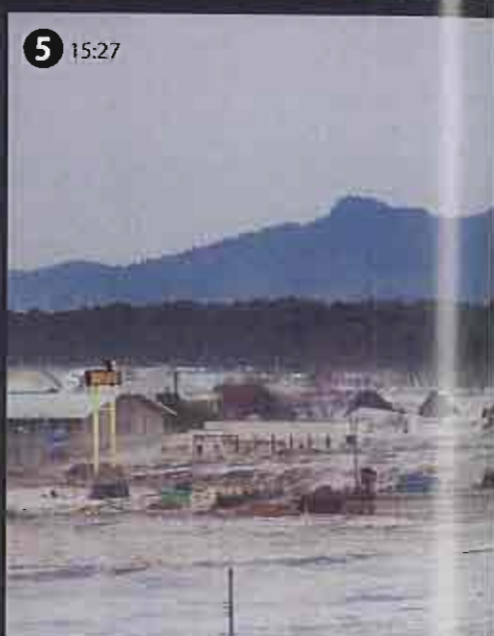
4 15:26



2 15:25



5 15:27



3 15:26

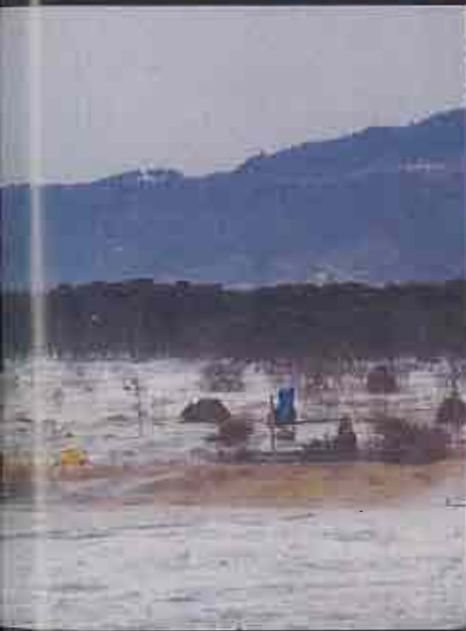


6 15:28

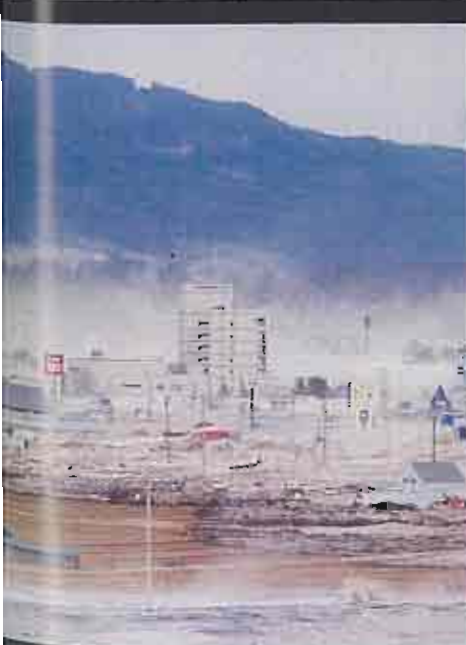




7 15:28



8 15:30



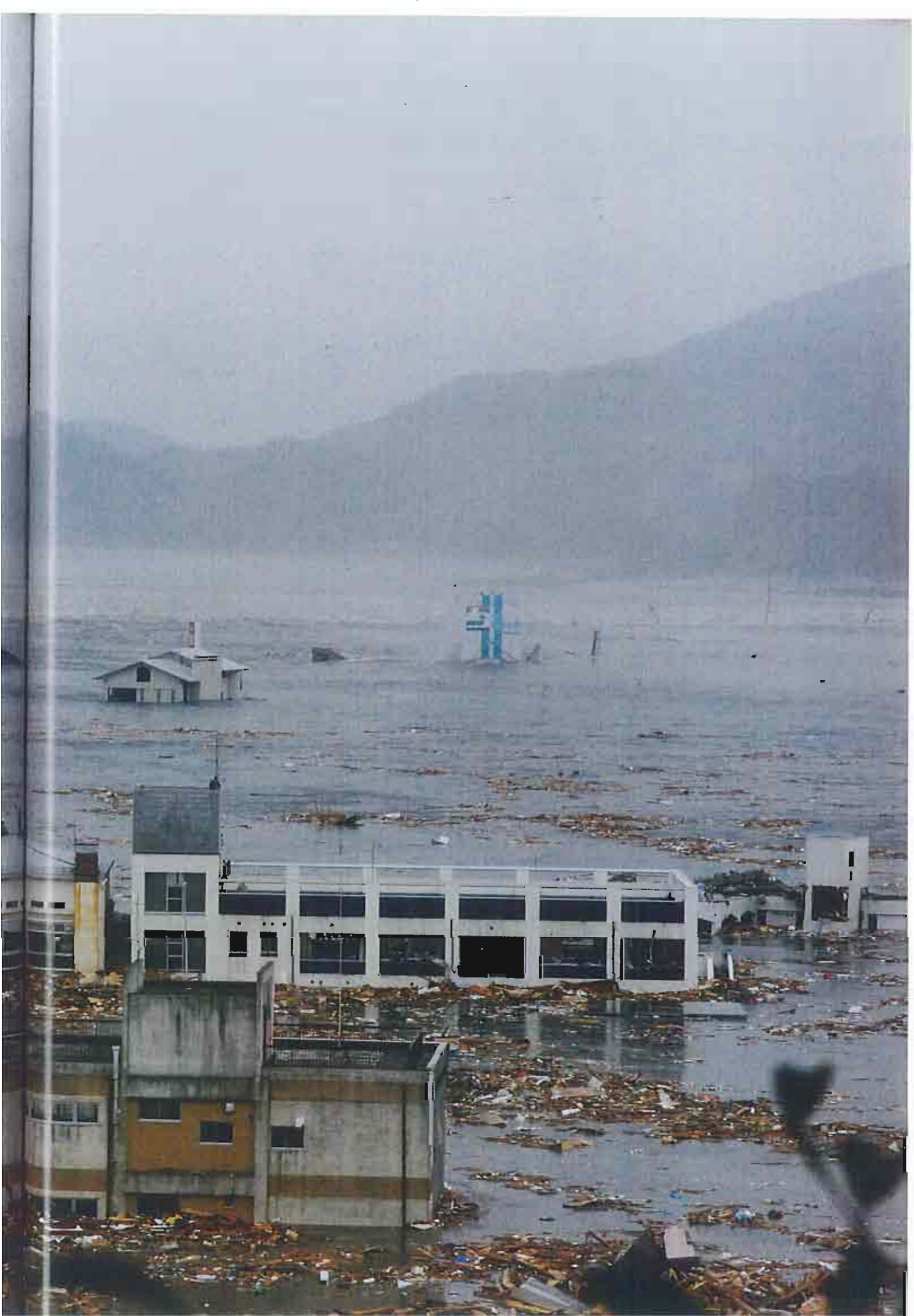
9 15:29



2011.3.11 15:40:50

.....

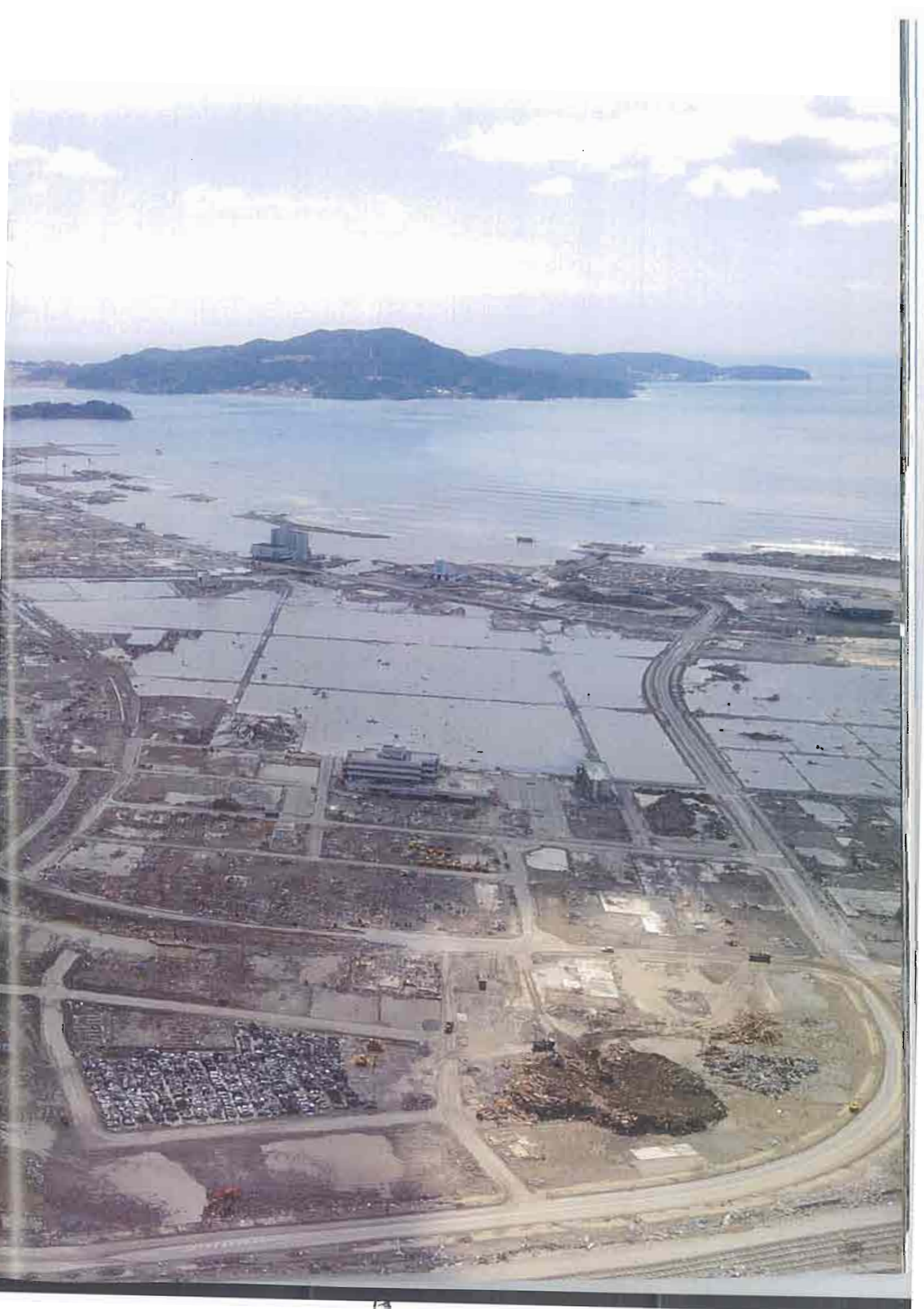




被災後の陸前高田

2011年4月24日撮影。一ヶ月半後の陸前高田市の姿。







ガレキと化した高田町



かるうじて残り、復旧・復興の要となった廻館橋（竹駒町）



竹駒町の津波被害は誰もが想定外だった（竹駒町大畑付近）



無残な姿となったJR大船渡線の鉄橋



津波が校舎3階まで押し寄せ、全壊した県立高田高校



矢作町島部



矢作町島部から竹駒方面を望む



ガレキに埋め尽くされた下矢作の水田

震災前と震災後の航空写真

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 陸前高田市

地震前

平成22年10月18日 25日



地震後

平成23年3月13日



東日本大震災による陸前高田市の災害はうきょう

(平成24年10月23日現在)

<津波被害状況>

陸前高市役所

ホームページより

被災戸数(±地震被害を除く)

被災戸数	全壊	3,159戸
	大規模半壊	97戸
	半壊	85戸
	一部損壊	27戸
	計	3,368戸

人的被害状況

総人口	24,246人	住基人口平成23年3月11日現在
生存確認	22,018人	平成24年10月23日現在
死者数 ^(震災分)	1,735人	市民で身元が判明又は死亡認定として死亡届の出された数
11(その他)	464人	病死事故死など
行方不明者数	*14人	安否確認要請のあった人
確認調査中	15人	
市内での11体発見数	1,555人	平成24年10月23日現在(市民以外をふくむ)

※ 2012年12月31日時点では行方不明者は218人でしたが、その後、い方矢があきらかに死亡届を出したため数が減っています。

公共施設

項目	被害金額	項目	被害金額
本庁舎	10億3200万円	市民体育館	9億4000万円
公用車	2300万円	市民会館	9億1000万円
中央公民館	2億5000万円	上水道6本東	5億1000万円
市立図書館	2億600万円	消防防 ^災 施設 ^{など}	15億7200万円
市立博物館	2億7000万円	(消防署・消防車 消火栓・防犯カメラ)	

水産関係

項目	被害金額	項目	被害金額
水産施設	62億円	養魚施設	2億94万円
重力力船	64億円	(もかめいふかき艇)	
漁港施設	88億円	海岸施設	53億円

農業関係

項目	被害金額	項目	被害金額
農業関係	3億54万円	農業用施設	93億545万円
農地 ^畑	77億円	ため木、水田など	

下水道施設

項目	被害金額
公共下水道	38億24万円

学校(校舎・体育館) 完全壊半壊をいふ

項目	被害金額
小学校	37億6800万円
中学校	

陸前高田市浸水区域図

- 浸水区域 *1
- 主要地点の浸水高 *2 (T.P.m)

*1 「2.5万分1浸水範囲概況図」(国土交通省国土地理院)に基づく。図は、国土地理院が地震後に撮影した空中写真および衛星画像を使用して、津波により浸水した範囲を固色したものであり、写真事後の精度上、浸水範囲内でも実際と異なる場合がある。

*2 「まちづくりサポートマップ」(国土交通省東北地方整備局、平成23年6月30日作成)に基づく。数値は、「津波被害調査のマニュアル津波工学報告15号(1988)」に従って行政地図、大学、研究所等の各種施設が調査を行ったもののうち、信頼度がAに区分されたデータが記載されている。



ぼくの親せきも
多数被災した。
那祭に話を聞
いてきた。

□は津波の高さ

ポンジ→津波が来た所

ひとみおは
さんの家

強手お
くさんの家

八道おじいさんの
いた陸前市役所

八奇せまの
一本木公

タカ子 →
おはさんの家

気仙沼市

菅野道弘おじさんと市役所について



道弘おじさんは子系がたくさんいる年れいであるが多くの父のいとこである。ぼくたち菅野家の本家をまとめている。たよりになるやさしいおじさんで、陸前高田市役所にきんむしている。

2011年3月11日、大震災発生時、おじさんは市役所できんむ中に被災した。全職員の約1/3が命を落とした中、奇死的に且力かた おじさんから当時、聞いた話を書いてみる。

「大地震発生後しばらくみな、そのまま市役所に行った。けれど、あまりにも大きな余震が数回きたので、さすがにこれはまずいということ、皆で一旦外にひなんした。ひなんしてきた人が、いかにたくさん集まっていたかどうやら津波が来るらしいということ、そこから二手に分かれてひなんした。一方は市民会館、一方は市役所へ。津波は誰も想像したことなか。たくらい大きくて市民会館へへにげた人はほとんど且力からな。津波は信じられないことに市役所の四階^{しがい}の元元まで来た。自分は四階までへにげたが三階^{さんがい}までの人は全めつた。津波はすさまじいスピードで、だれにもどうにもならなかつた。水が引くまでの一はん生き残った人々で求又且力を待た。震災後は家に二度寄りただけで毎日、赴急対応本部で18時間労働をしている。子や親を亡くしている人もいる。とにかく今自分のやれることをやる。」



陸前高田市役所屋上から、さらに上部へ避難しようとする市役所職員ら=3月11日午後3時35分ごろ

※高田松原から市役所までは約1.5kmだが津波はたった3分ほどで到着した。



震災から8カ月以上たって大量のがれきも一部片付き、被災した建物だけが残された陸前高田市役所

おじさんはそんな大変なぼうきょうの中、小さい子どもたちは
元気に外で遊んでいる。でも今は111けれどそうとうきずついている。
これから先が心配だ。と子どもたちのことを気にかけていた。
それを聞いて母が『絵本を陸前高田市の子どもたちへ送る
活動』(椎小の人達にも協力してもらい、10日間で3000冊以上
送った。)を行った際には災害対策本部の一員として本の分
配に力を貸してくれた。

道弘おじさんは、今もなお市役所の一員として復興
に力をつけてがんばっている。

道弘おじさんに会ってきました。

道弘おじさんは今も陸前高田市役所の職員として、たいへん
いそがしく仕事していた。道弘おじさんの家(菅野家の本家)
は山合いにあるので無事だったが、残された家族は電気、
ガス、水道がすべて止まった。道弘おじさんの安否がたい
へんだ。たそだ。
もがらす

道弘おじさんから聞いた話。

「なんとか屋上になげたが、みなすべてのことが見実とは思えず
ぼう然としていた。その夜は、水が少し引いた後、みんなで
4階に木多重丸して、一夜を明かした。なぜか1つだけ小さなダ
ルマストーブがあったので、火の近くを1人30分交代いで
温まりながらすごした。けれど雪がふる季節でとても寒かった

糸巻

よく日救女力をされてからは、すぐには災害対策本部の一員として働きはじめた。3月11日にどこかでひとみに(ひまわりおばさんのこと)会って言葉をかちたらしいが、まったくおぼえていない。とにかく、すべてがすさまじいしょうきょうで、死だった。震災の次の日はおにきり1日、その次の日もパニックという日が続いた。かまもなく、空腹をかんじなかった。はじめはトイレにも全く行かなかった。おそらくあまりのショックで体が感じなくなっていたのだと思う。震災後には交通事故が頻発した。あまりにもショック状態だ。たり考え事をしていたり、か理屈だ"と思う。

一番つらかったことは、なま市役所員のい方が1か月もしないうちにやってきて「なぜ市役所の人間はうちの息子に糸巻香をあげたこないんだ。なぜ昔うちの息子が死んでしまった。あなたが生き残ったのか」と言われたことだった。やることからすまいて、生き残った後、自分がはじめて家に帰ったのは震災から2週間後で、その時ははじめてシャワーを浴びてまたすいた現場にもどった。言いかたはよくないが、もしれないが、死んだ人にかまう時間ゆとりもまもなく、生きている人、家を失った人など目の前で生きている人をなんとかかすことに必死だった。

ただでさえ自分自身も生きるか死ぬかの状態であったり、職員の間の仲間をたくまなくしてつらいのに、市民のために働きつづけている道弓おじさんはすごいと思う。
(市役所員として聞いた話はP.42-P.43に書いてある)

百金平おじさんとその家族について

強平おじさんは、おにいちゃんのお兄さんだ。娘がふたりいて、その夫たちとけい備会社を系営していた。津波の時自宅におじさんはおくさん、娘と夫系ふたり、ねこ二匹という、6人とも家ごと流されてしまった。その後、別の家に住んでいたもう一人の娘がおいさんたちを探したが、系警局DNAから特定も全員は見つからず、2012年末に行方不明のままおじさん達の死亡届を出した。

今回、陸前高田にクテて生き残った下の家のお父さんで、お茶をあげたら強平おじさん一家六人の写真がならんでいてその数にびっくりした。下の娘さんの夫によると、地震の後「津波が来るかも知れないから一系者にひなえしお」と声をかけたが、強平おじさんたちは「だいじょうぶ」と言っていて逃げなかつたという。連れて来られたのは白いネコ一匹だけ。強平おじさんは車いすだったからしが重かったのか、防災無線が三メートルと語っていたから大したことないと思っていたのか、「あの時もと強く誘ってくれれば且力かたかも知れない」とその娘さんは語っていた。

こんな話もある。ようとう地震の直前に、おにいちゃんのお母のタカ子おばさんが強平おじさんの家にお茶を飲みに行っていた。そうしたら見たことのないような暗い色に空がなっていたので、タカ子おばさんは「雨が降りそうだから洗たく物をまらばなしたから帰らなくちゃ」とあわてて家に帰り、津波にのまれてすんだらしい。タカ子おばさんの家はしん水色いキリギリのところで、床下しん水だったそう。ほんの数分前までしよにお茶を飲んでいたので、自分だけ且力かた...と思っていたタカ子おばさんの夢まくらに毎は、津波で流された強平さんのおせんが出てきてねえれないと長い間言っていた。

今回行ったら、残された娘さんは立はな家をすて火葬していた。震災三日目には東京方面から、仮設住宅へひなんして守の家をねらったくさんのおじまが陸前高田に来たという。そういう家の10人ローンをうけおて、会社を再開してきたそう。

村上ひとみおばさんとその家族について、

ひとみさんはおじいちゃんのおばあちゃんが一番伊良しの岩手の親見せきである。震災後、おばあちゃんが必死に連れくをしたが全く安否が分からなかった。そこで、母が2010年にもらった年賀状を出してみたところ、ひとみおばさんの息子の写真について書かれていた。その情報をもとにインターネットで検索したら息子の大学名が分かったので大学に問い合わせをすることになった。大学がちょうど春休み中で、大学でも安否は分からなかったが大学から「東京の親見せきがさがしている」とけい帯電話に連れくを入れてもらい、息子と直接話すことが出来た。なんとひとみおばさんの息子は3月10日のはんに夜行バスに乗って陸前高田を出発し、3月11日の朝方に東京に写真のグループをやるためにと着いたばかりだった。「グループがなければ春休みで家にいたので、1日ちかえれば自分も津波にのまれていた」と電話

(続→)

2010年の年賀状

これを手がかりに母が安否確認した。→



岩手山を背にして家族一緒

2009年の年賀状の写真

(写真右側のおじいさんとおばあさんが津波で行方不明になった) 23



今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年道の駅めぐり44ヶ所、4人で楽しみました。娘のえりかはドラクストアにいます。夜はボランティアで外国人の居に日本語を教えています。
-真は大学2年生です。今夜頭にカネ入れ盛岡で個展を12/8~1/23までしています。

「東日本大震災」奇跡の生還

他では読めない27ページ

現地総力取材

43人が語る

「生死を分けた瞬間



2年10月 24時間後に救出 犬を抱き
老犬を頭に乗せた【3】一晩水に漬かっ
電柱に上った私の背後で【3】津波
1日に【3】家族を求め
激湍で【3】背後に迫る【3】の
泥から【3】救出された老夫 遺体収容

その瞬間を分けた奇跡の生還者43人
彼らは何を語りあうのか、一瞬
と死を分けたものは何だったのか

独特の臭いが充満する
M9.0という日本史上最大の地震
を襲った日本、そして東日本大震災

←『週刊文春』

2011年3月24日号

震災の記事のトップページにぐうぜん、ひとみおはさんの横顔写真が大きくのっていた。これを見て、親見方矢違はひとみおはさんが生きていることを確認できた。(横顔はおじいちゃんそっくりです。)

で話した時に息子が言っていた。ひとみおはさんとおじいさんは、遠くにある会社で仕事だったため無事だったかしん水地11きにあつた自宅は津波で流され、家にいたおじいさんとおはあさんは行方不明になってしまった。後日、ひとみおはさんと電話で話したら、息子の写真と案内状を震災の日に家の近くのポストでほとの家あてに投かんしてくれただことだった。ポストもゆう便局も津波で流されたのでそれはほくにはほとんどがなくなり、まほろしの手糸氏となった。ひとみおはさんとおじいさんは今もまた仮設住宅に住んでいる。

ひとみおはさんにご会つて来ました。

ひとみおはさんの住んでいる仮設住宅は港からはなれた高台にあつた。近くには仮設のゆう便局やコンビニや居酒屋など色々あつた。おはさんの家は小さな2DKで寒さを防ぐためにアルミのシート^(R)を付けていた。

ひとみおばさんから聞いた話

津波発生時に山に近い所にある会社に行ったひとみおばさんが見たことを話してくれました。

「津波は第1波、第2波、第3波とあったと思う。第1波の時は、いよいよと波が来た程度だったので、近くを走るバイクを見ながら、会社の人みんなで早く早くとのん気に言っていた。けれど、第2波で堤防をこえたのが見えたので、これはまずいということになってみんなあわててもっと高い所へにげた。上から見ていた光景はあまりにもひどくてこれは本当のことなのだろうかとまるで映画の中に入りこんだよ。波はま、黒な大きな固まりで松原の林がボコッとさかひあがるのが見えた。燃え尽かすトラックが流れながらはく、発したのが見えて山に燃え尽かして火事にならないか心配した。車や家が流されているのが見えた。自分の家の近くの大きな建物が見えたのが見えたので、自分の家はたまたまと分かった。波が引いてからはずぶぬれになって山のほうに土が落ちてきた人たちを助けた。家にいたおじいちゃんとおばあちゃんの1体は見つからない。たくさんいた。中には津波がくるからいっしょにひなんしようと声をかけてくれた人もいたが、いっしょにひなんしなかった。ちょうど大地震の3日前に大きな地震があってその時に、おじいちゃんが見え、津波きたして自分はにげずにここに死んだ。いっしょになんかあったけど家を2けん建ておもしろい人生だったと話していたのが不思議で、せめても救った。2年後に高台に家を建てようとかんがっている。」

なみだりながらに話してくれたひとみおばさんとおじいさんはとてもやさしくて明るい人です。いいなと思った。

カメラを片手に撮ってきました。

新幹線系一、関馬駅から気仙沼経由で陸前高田に行きた。



復興のための屋台村
ができていた。

車で走っているとつせ
ん津波で流された船が陸
に現われてびっくりした。
まもなくかいたいす
ろた。





津波に完全にしん水した
気仙中学校。
中がボロボロにはか
いされている。

生徒たちはみんなうらの山みな
んして全員命は無事だった。



高田松原の近くにある道の駅。

(R11にものっている)

← (真ん中へん)



松の木がめり込んではいか
いさねている。津波の強
さをとらうかがえる。↓



車で国道を走ると
過去のい水区間
ここからと
過去のい水区間
ここまで」かとき
とき現われる。



こ用そく進住宅
津波でいん太な受けたかき有畜
はひなんしてみなふじいたらた
一人でもせくなつたんかいた建物
はるまさないそつた。



高田木公原と市役所の間に位置するビル。



屋上に津波が来た高さを赤い矢印で示している。ビルの所有者の息子は屋上の一番高い戸所(1)にげんがたが父親は二階に(2)てもくた。





これは陸前高田駅
と書いてあるから
波で電車が流
されてないため
これはバスがとまる駅
だ。

(左)陸前高田市の
マスコットキャラクター
「たかたのゆめちゃん」



(左から2番)気川沼市
観光キャラクター

「海の子ポカポカちゃん」



大舟谷渡糸泉の糸泉路
が気仙川の津波で
金矢橋の一部はかいさ
れてしまった。

大舟谷渡糸泉のこわれた糸泉路を500mほどつなげれば陸前
高田までかなりのきよりの金矢道が復活するようだ。工事費
用をかけてもさし算がとれないらしく、JRは新たにバスしか運行
してない。



ひとみおばさんの住んでいる仮設住宅だ。



ひとみおばさん(赤いシャツ)の家の前で。明るくてやさしかった。



けし気にはお花がきれいに植えられていた。

このような住宅が
もたげぐらにならんで
いた。



仮設住宅の天井。

寒さと暑さをしのぐために
自分でシートをはいて
いる。まどりは2DKだった。



仮設住宅のトイレとお風呂。





けり察も流
 されて仮設
 になっている。
 ちょうどひと
 みおはさんの
 家のななめ後
 うなので安心
 だ。



仮設住宅
 の中に集会場
 もあった。ゆる
 キャラのゆめち
 んが付いていた





これは8月7日に行われる
うごくせつに使ったしごと。これ
をみんなひっぱって町を歩く。

若者たちが復興を原真からて
書いた物だ。



奇跡の一本松

The Lone Miracle Pine

は、東日本各地に
多くの方が犠牲
を生かしてしま

The tsunami from
Japan on March 1
Rikuzentakata lost

七万本の松林のうち
たった一本だけ残
ったが、潮水でかわ
れしまったため、中
にじゅしを入れてカ
ロエした。工事費用
の十億五千万円は寄
付金ですべてまかな
われた。今後いじ費
は年間40万程度。

たくさんの方がお
とすづれていった。下
に見える黄色い
建物は津波では
かいされたユース
ホテル。なにもし
ないところに一
本だけ残ったのが
すごいと思った。



(上にはひらいせんがたって)
いる



津波で流されて
根だけが残った
木公。

一本木公の周りをたくさんのかもめ
が飛んでいます。
↓



陸前高田市役所の仮庁舎前
にて。
市役所の方々がなためいていた。



高田西地区復興
整備事業。
数年かかりでのプロ
グラムが始まったば
かりだった。

仮庁舎の砂を
運搬中



うみそいの砂土也に
積んである金矢くずのか
れきの山。



高台移転云のため
にけずり取った土。
置き場が決まらず
うみそいに仮におい
てある。



被災者の人々がいこう
ために建てられた

『みんなの家』

第13回ヴェネチア

ビエンナーレ
国際建築展



『金獅子賞』を受賞

大変有名な賞のため世
界中から見にくる人がいる。

『みんなの家』からのながめ。

この町が活気にあふれるのはいったいどうな



マスコミキャラクター 『たかたのゆめちゃん』

【ゆめちゃんマスコット】



ゆめちゃんマスコット
色:黄色・青色
高さ:11cm
値段:650円(税込)



陸前高田復興応援ソング
たかたのゆめちゃん 歌:はまもりえいこ(試聴)
未来のためのもの 歌:速水けんたろう(試聴)
1050円(税込)

陸前高田市の今とこれからについて、

実際に陸前高田の町を周って来ましたが、海ぞいはまたなにも建物が建っておらず、かれまはかたづいていました。復興の兆しは見えませんが、そこで、市役所につめておられる道弘おじさんにインタビューして来たら。

Q1. 復興はどれくらい進んでいると思いますか？

A1. 計画では8年間で復興を完了予定だったが、現時点ではまだ5%ぐらいという気がする。けれども、1000戸建てる予定の住宅(仮設住宅に住んでいて、自分で今後家を建てられない人のためのもの)が全く建てていないのを考えると0%と言ってもいいかもしれない。

Q2. 復興が進まないのはなぜですか？

A2. 理由は大きく分けて3つある。1つ目は工事するにはまず岩手県から許可を得なければいけないが、それにとっても時間がかかる。2つ目は海ぞいのしん水土地いきを住宅以外の用とに市が開発したいのだが、土地けん者が土地をゆずってくれないからである。今は市のまわりでしん水土地いきには家を建てられないが、先祖代々の土地への思い入れが強く、あれだけ大変な思いをして、次の代ではと、考え方はなさない人が多い。

3つ目は、工事のきほが太すぎで、文寸心出来る工事の会社が少ないこと、復興が終わるまでの其月げんつきの仕事なので、他の県から、なかなか仕事をしに来てくれない。

Q3. 工事のお金は足りていますか？ みんなからのほ金は使れていますか？

A3. 現時点は政府からのお金があるので足りている。また、いただいたほ金は家や家族をなくした人に分配している。いまだにかれ~~ま~~し~~り~~には1か月に1億5千万円、そのイセの造成工事に**数十億円**以上かかっている。復興費用はすべて国が~~か~~してくるか復興作業が~~あ~~ったあとのいじ~~り~~費はすべて市が~~か~~つた~~ん~~するので~~それ~~か~~心~~配。たとえば奇世の本松は1億5千万円の寄付金で作ることかできたが、年間4,50万円のいじ~~り~~かか~~る~~！~~れ~~と~~も~~市にはその予算はないのであと一年間ほ金を集めなければ~~い~~けない

Q4. 道弘おじさんはこれから陸前高田はどんな風になてほしいですか？

A4. まずはハード面(建物、施設、商店街など)の復興を~~と~~げてほしい。それ目には見えな~~い~~けれどソフト面(住んでる人の心)の復興もすすんでほしい。そしていつか『陸前高田に住んでいてよかったなあ』とみなに思ってもらえる町になてほしい。

Q5. ほくたちに何が出来ることはありますか？

A5. 小学のきみたちにはまず、地震や火事、災害など、万一の~~こ~~とか起~~こ~~った時に、どうやって行動するかどうやって自分の身を守るのか、どうやって家族と連絡をとるのかなどをしっかりと日ごろから考えたり家族とはなしたりしてほしい。そしていずれ15才になったとき20才になった時に被災~~士~~世に向けて何か出来ることはないかと考えてもらえたらいい。



※復旧復興工事の状況で「駐車場」「歩行者用通路」変更になる場合がございます。

陸前高田市観光マップ

発行元：陸前高田市観光物産協会
お問合せ先：TEL 0192-54-5011

大船渡市

至 釜石

碓石海岸IC

至 大船渡・釜石

至 大船渡

氷上山
登山道入口

三陸縦貫自動車道
大船渡三陸道路

丸森

スズランコース
90分



親子地蔵
普門寺

県立高田病院

高田病院駅

広田半島入口

市民の森 箱根山

箱根山神社

気仙大工左官伝承館
● 観覧時間：9:00～16:00
● 休 日：木曜日・12/29～1/3
希望の灯り

大船渡湾



穴通戦

米崎町

市民の家「はこね」

気仙大工
左官伝承館

小友町

正徳寺

鳥羽医院

碓石海岸

世界の楢館

碓石浜

鱈之沢漁港

両替漁港

矢の浦漁港

田舎東館青島

東部
サービス

華蔵寺

八幡神社

蛇ヶ崎神社

蛇ヶ崎

大野湾

陸前高田市

広田町

大船漁港

六ヶ浦漁港

仁田山
トンネル

駐在所
広田診療所
広田郵便局

黒崎仙峽入口

有松島

黒崎神社

黒崎仙峽
黒崎展望台

慈恩寺

小磯崎青島

正田漁港

民宿 志田

樹神社

楢崎漁港

土井晩翠歌碑

青松島

広田崎

ウミネコ繁殖地

楢島

凡 例

- | | | |
|------|------------|--------------|
| 郵便局 | トイレ | 警察 |
| 銀行 | 整備工場 | 病院 |
| 神社 | 寺院 | ガソリンスタンド |
| 文学学校 | コンビニエンス | 産直 |
| 消防署 | BRT 駅(停留所) | 1～33 気仙三十三観音 |

陸前高田市へのしえんについて

日本では被災地のことかおそれながらですが今だにオーストラリアのキルトをつくるグループの人たちは、陸前高田におくり糸売っています。
(ほくのおばさん(母)がオーストラリアの日本大使館につとめていて震災後、あまりにもたくさんキルトのグループの人達から被災地にキルトを送りたいと言われたので間に入っています)

暖かそう！と心から喜んでくださる、陸前高田市 きらりんきっずのスタッフの皆さん！ 仕分けをお願いします



陸前高田市きらりんきっずさんにて撮影

④おじからの到着の報告とお礼のメールを姉が翻訳して、ウォーム・ザ・グローブの皆さんに伝えました。

★こちらは第一便の到着の連絡を受けたウォーム・ザ・グローブのコーリンさんが、第二便に同封して下さったメッセージ(原文は英語)です。季節が逆の南半球から、冬の到来を危惧して下さるやさしさが伝わってきます。

ふたたび、こんにちは。最初にお送りしたブランケットの箱が無事に到着し、小さいお子様のいらっしゃるご家庭に配ってくださるとのこと、とても嬉しいです。この箱にはブランケットが14枚、子供用セーターと帽子(夏用と冬用)とマフラーを入れました。陸前高田に冬が訪れているようにこちらも季節の変わり目です。キャンベラの冬も大変寒いので暖かくなる日を楽しみにしています。私達が使っているほとんどの毛糸はベンディゴ・ウール・ミルズという会社のもので、この会社の好意で大変安く提供して頂き、ウォーム・ザ・グローブまでの送料も持って頂きました。なお、この毛糸は洗濯機で洗う事が可能です。清潔に保つ事が出来ますので長く愛用していただけたらと思います。その他の素材で編まれたブランケットも全て洗濯機で洗う事が出来ますので皆様にお伝え下さい。写真を添付いたしましたので、ご覧下さい。陸前高田の仮設住宅に断熱材を入れる作業をなさっているとお聞きしましたが、寒さが増す前に終了できるようにがんばって下さい。被災された方々を東北の船乗りから守るというのは想像を絶するほど大変なことと思いますが、全てうまく行きますようにお祈りしています。御連絡を下さるのを楽しみにしております。

ウォーム・ザ・グローブ・ブランケットチャリティーより

Yassキルトグループからの贈り物



こちらはキャンベラ近郊の町、Yassのキルトグループの皆さんからの品です。半年をかけて16枚、皆さんで製作をして下さったものを、地元の図書館で皆さんに披露され、すぐに送っていただきました。皆さんの笑顔に優しさがあふれています。

46 (母のホームページより)

おたくにいない本はありませんか？
 こんなしえんもありますよ。よくお願いします。



陸前高田市図書館
 ゆめプロジェクトとは？

お申込み方法

応援メッセージ

よくあるご質問

陸前高田市にみんな 図書館をつくらう。

2013年6月末時点で834,313冊の書籍をお送り頂きました。
 累計寄付金額は14,220,388円になりました。

皆様からたくさんのお応援メッセージも届いております。

▶皆様からの応援メッセージを見る



陸前高田市図書館ゆめプロジェクトとは？

ご家庭や会社で不要になった本で、陸前高田市の図書館を再建する手助けができます。

東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受けた陸前高田市では、多くの公共施設と同様に図書館も、大きな被害を受けました。
 当プロジェクトでは、皆様が読み終えた書籍を株式会社バリューブックスにより査定を行い、その買取金額相当を図書館再建として役立てられます。



図書館の様子



読めなくなってしまった本



移動図書館 やまびこ号

現在、移動図書館車や仮設図書館を運営していますが、市民、そして子どもたちが本に親しめる場が少なくなっているのが現状です。図書館は子ども、大人が集えるコミュニティースペースとしての役割だけではなく「本を読む」ことで人の心を豊かにしてくれる場所でもあります。
 陸前高田市の図書館再建のためにあなたの読み終えた書籍をお送りください。

Facebookもチェック

陸前高田市図書館ゆめプロジェクト 陸前高田市×バリューブックス

いいね! 3,213

陸前高田市図書館ゆめプロジェクト 陸前高田市×バリューブックス

「芥川賞作家加藤幸子さんとともに読書会」の参加者が前、開会を待っているところです。

8月4日 18:15

陸前高田市図書館ゆめプロジェクト 陸前高

陸前高田に行つて、

～ まとめ ～

陸前高田の被害様子はテレビや電話で聞いた
り見たりしていましたが、實際に行つて見てみる
と思つていた以上にすごかつたということか
分かりました。とんとん新しい建て物が出来ていると
思つていたら、ぜんぜん復興が進んでなくてびっくり
しました。親見せきの人はたいへんな目にあつていたにもか
かかわらずみんな明るくしててもやさしかたです。その
前向きな所がすばいなおと思つていました。特に印象的
だったのは『道の馬場の建て物でそのはかいのこれかた
には^(R27)とてもおどろきました。松の木が流れて来て
めりこんでいるのが印象的でした。そんな中で七方本のうち
一本だけのことたのは本当に奇せきだと思つていました。今小学生の
ぼくに出来ることはないかもしれませんが被災と被災地の人々の
ことを心にとどめておきたいと思つています。大きくなつた時
復興が糸をわいていなければ手伝いたいと思つています。

菅野 勇己



岩手の親見 せまたちのよは元気にがんばりたいです

